



食に関するあらゆる情報を調査「ぐるなびリサーチ部 調査レポート」Vol.107

飲食店情報サイト「ぐるなび」開設30周年特別調査

飲食店探しの過去・現在・未来に関する調査

変わる「探し方」と、変わらない「偶然の出会い」への憧れ

株式会社ぐるなび（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：杉原章郎）は、「楽天ぐるなび（<https://www.gnavi.co.jp/>）」ユーザーなどのぐるなび会員を対象に、世の中のトレンドに合わせて食に関する様々な調査を実施しています。今回は、飲食店情報サイト「ぐるなび」の開設30周年を記念し、「飲食店探しの過去・現在・未来」をテーマに調査を行いました。詳細は以下の通りです。

■調査結果ポイント

【過去】飲食店探しの苦労は「初めての土地・旅行先での情報不足」が最多

その他、「店の場所が分からず、駅の看板地図や交番で道を聞きながら向かった」「行ってみたら満席で何軒も歩き回った」が上位に。

【現在】飲食店探しの決め手となる最重要情報は「詳細なメニューと価格」が3割で最多。

インターネット検索ができるようになったメリットのTOP3は「クーポン」「条件検索」「クチコミ」。いずれも特に女性は男性を10ポイント以上上回り、強く恩恵を実感している。

【未来】実現してほしいのは「AIコンシェルジュによる提案・予約」が最多

一方で、絶対に失いたくない体験トップは「良いお店との偶発的な出会い」。テクノロジーによる究極の効率化を求めつつも、名店を見つけるロマンを求める心理が浮き彫りに。

【調査概要】

■調査期間：2026年7月3日(金)～7月5日(日)

■調査対象：全国

■調査方法：WEBアンケート

■回答者：20代～60代のぐるなび会員1,209名

不便さを解消した先にある「外食のロマン」

**ぐるなび**

リサーチ部

（株）ぐるなび
リサーチグループ長
本間 久美子

ぐるなびが飲食店情報サイトを開設してからの30年で、飲食店探しのスタイルはアナログからデジタルへと劇的な進化を遂げました。今回の調査では、その変遷が垣間みえる結果となりました。かつては「お店の場所がわからない」「値段がわからず入店時にヒヤヒヤする」といった物理的・心理的なハードルが当たり前でした。しかし現在では、事前に詳細なメニューや価格等を確認できるようになり、ユーザーはより自身の条件にマッチするお店選びを行えるようになりました。タイパやコスパが重視される現在、その中でも「詳細なメニューと価格」や「ポイント還元やお得なクーポンの有無」が、お店決定の最重要事項となっているのは納得の結果です。また、興味深いのは、未来に対する回答です。「AIコンシェルジュ」による究極の効率化・自動化への期待が最多となった一方で、テクノロジーがどれだけ進化しても失いたくない体験のトップは「良いお店との偶発的な出会い」となりました。情報が網羅され、最適解がすぐに出る時代になっても、偶然出会ったお店の味に感動するという「外食のロマン」は、いつの時代も色褪せない本質的な喜びなのだと言えます。私たちぐるなびも、テクノロジーの力でさらなる利便性を追求しつつ、こうした「偶然の素晴らしい出会い」や「お店を選ぶワクワク感」をユーザーの皆様提供できるよう、これからの時代も食を通じた豊かな体験を届けてまいります。

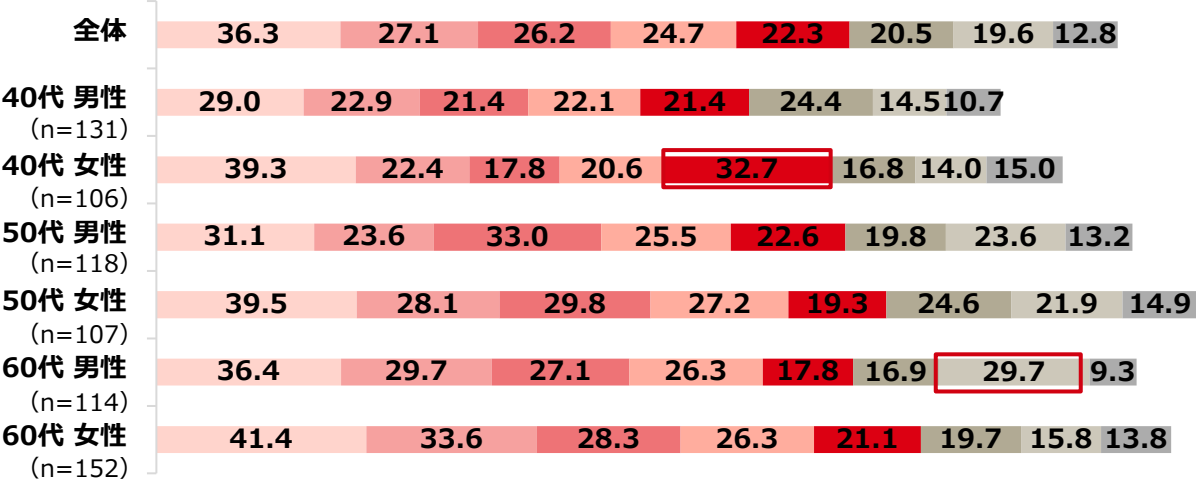
<本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社ぐるなび 広報グループ MAIL:pr@gnavi.co.jp



過去の飲食店探し

Q1. インターネットで飲食店探しやネット予約ができるようになる前、「大変だった・困っていた」ことはありますか。（n=728：40代以上の男女）（%）※複数回答



- 初めての土地や旅行先で情報が乏しかった
- お店の場所が分からず、駅の看板地図や交番で道を聞きながら向かった
- 行ってみたら満席で何軒も歩き回った
- 定休日や営業時間が分からず無駄足になった
- メニューの値段が分からず入店時にヒヤヒヤした
- 予約の電話が繋がらない、電話番号が分からない
- 幹事を任されたがお店を知らなくて困った
- テレビや雑誌で見かけた店をメモし忘れてたどり着けなかった

過去の飲食店探しの苦労は「初めての土地・旅行先での情報不足」が36.3%で最多に。その他、「店の場所が分からず、駅の看板地図や交番で道を聞きながら向かった」「行ってみたら満席で何軒も歩き回った」が上位に。60代男性では「幹事を任されたがお店を知らなくて困った」、40代女性では「メニューの値段が分からず入店時にヒヤヒヤした」が、それぞれ3割前後と高い。

Q2. 当時、飲食店選びで「大変だった・困った」具体的なエピソードを教えてください。

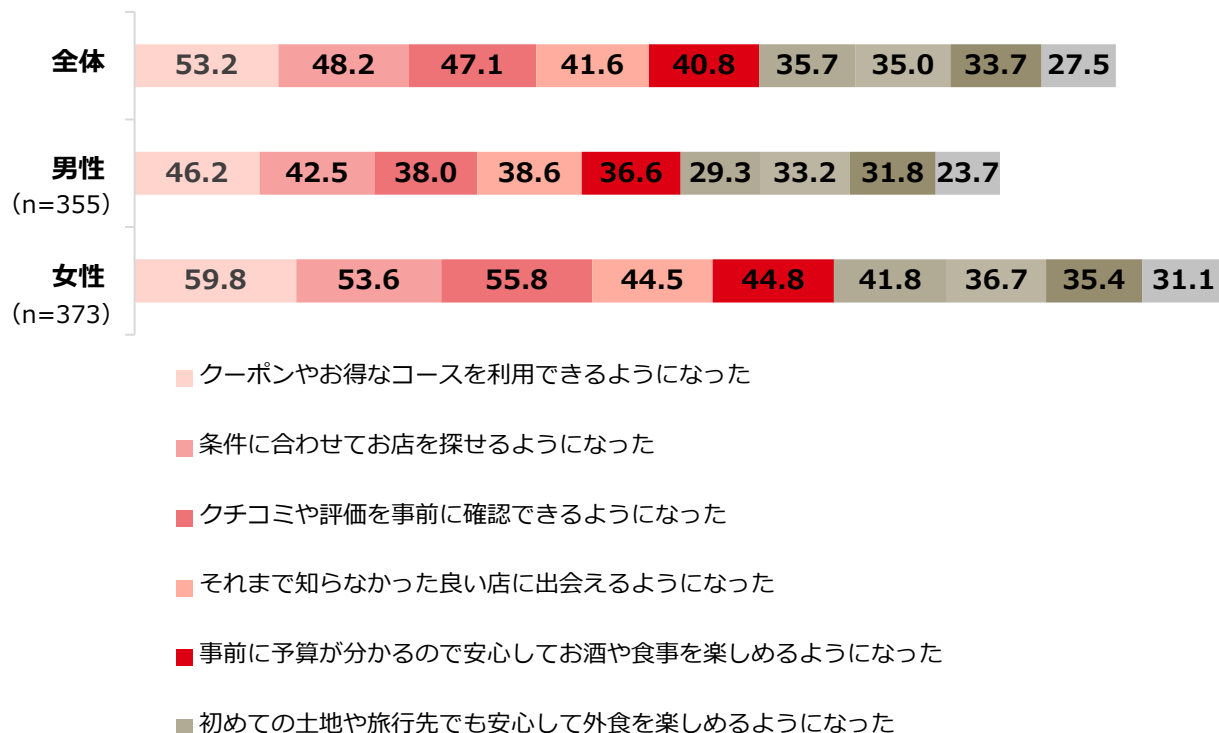
- ・初めて行く場所の店が分からず、それらしい店のあたりを一軒一軒探して歩いた。（40代男性）
- ・ガイドブックで見つけたお店に行ったら、お店が閉店していた。（50代女性）
- ・店の内装、雰囲気が分からず、大切な席を台無しにしてしまった苦い経験がある。（60代男性）
- ・新入社員で経験のない土地で幹事になり、右往左往した。（50代男性）
- ・そもそも探すという考え自体なくてある店に入るぐらいだった。（40代男性）
- ・会場選びを任されたが、銀座界限で1軒1軒直接話をした。二度と引き受けたくないと思った。（60代男性）
- ・社内の飲み会の幹事をする事になり、会費がある程度決まっていたため、お酒飲み放題のお店を探すのが大変だった。（60代女性）



現在の飲食店探し

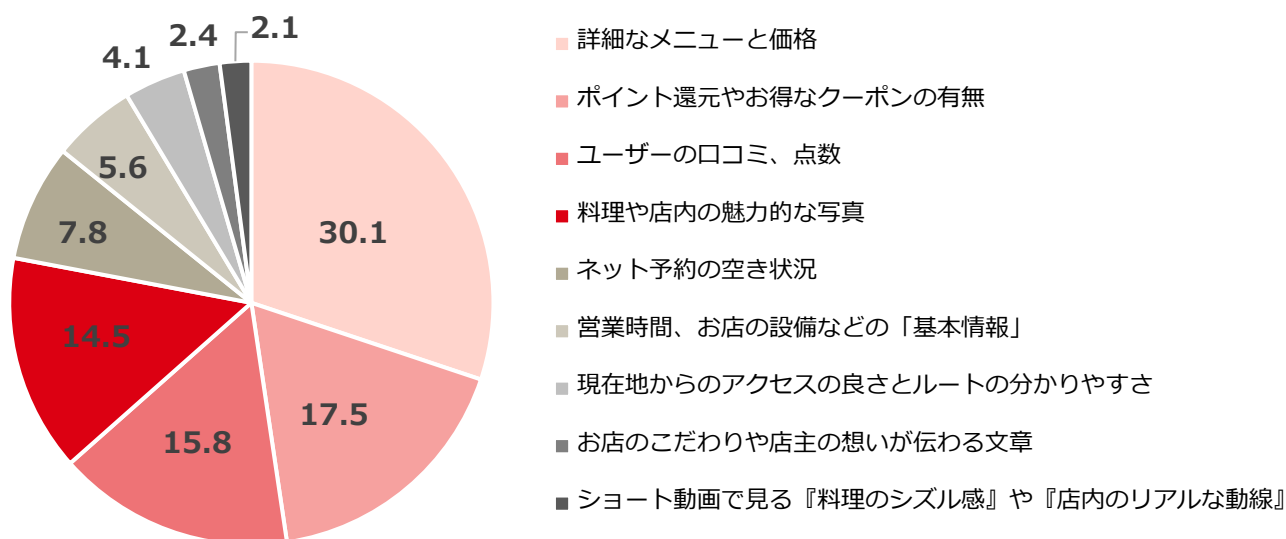
Q3. 飲食店情報サイト等で事前にお店を調べられるようになって、良くなったことはありますか。

（n=728：40代以上の男女）（%）※複数回答



Q4. 今、あなたが「このお店に行こう！」と決断するために、“背中を押してくれる最も重要な情報”は何ですか。

（n=1,209）（%）※単一回答



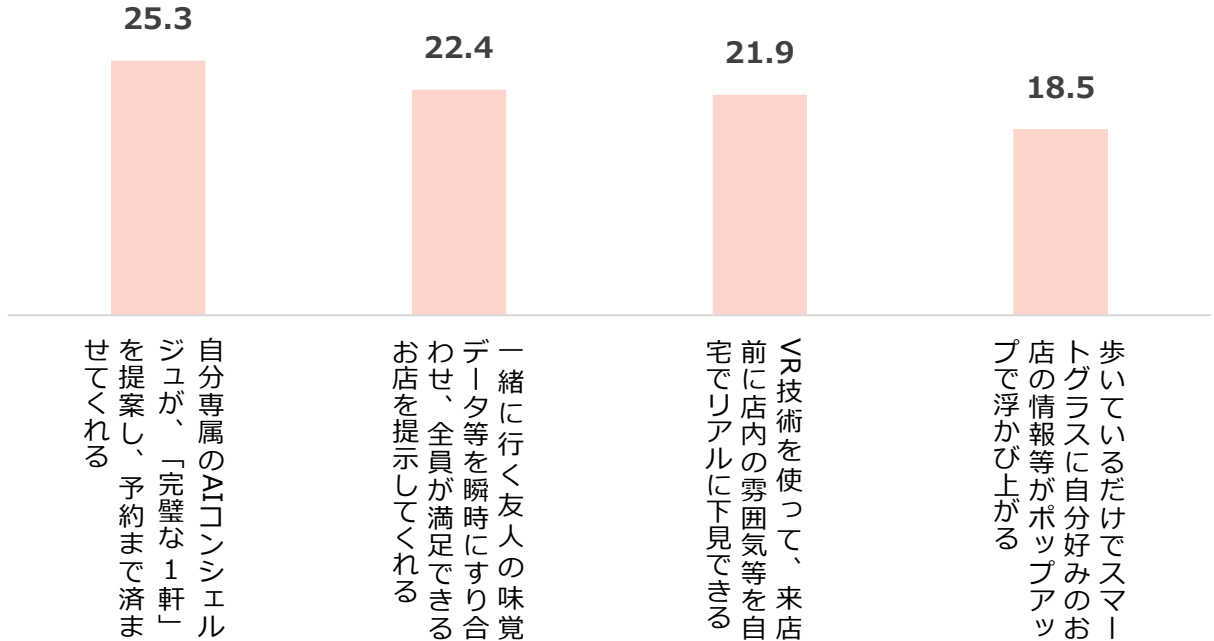
現在インターネットでお店探しができるようになって良くなったことは、「クーポンやお得なコースを利用できるようになった」「条件に合わせてお店を探せるようになった」「クチコミや評価を事前に確認できるようになった」が上位。いずれも女性が男性を10pt以上上回る。また、店選びの際に最も重要な情報は、「詳細なメニューと価格」が3割で最多。



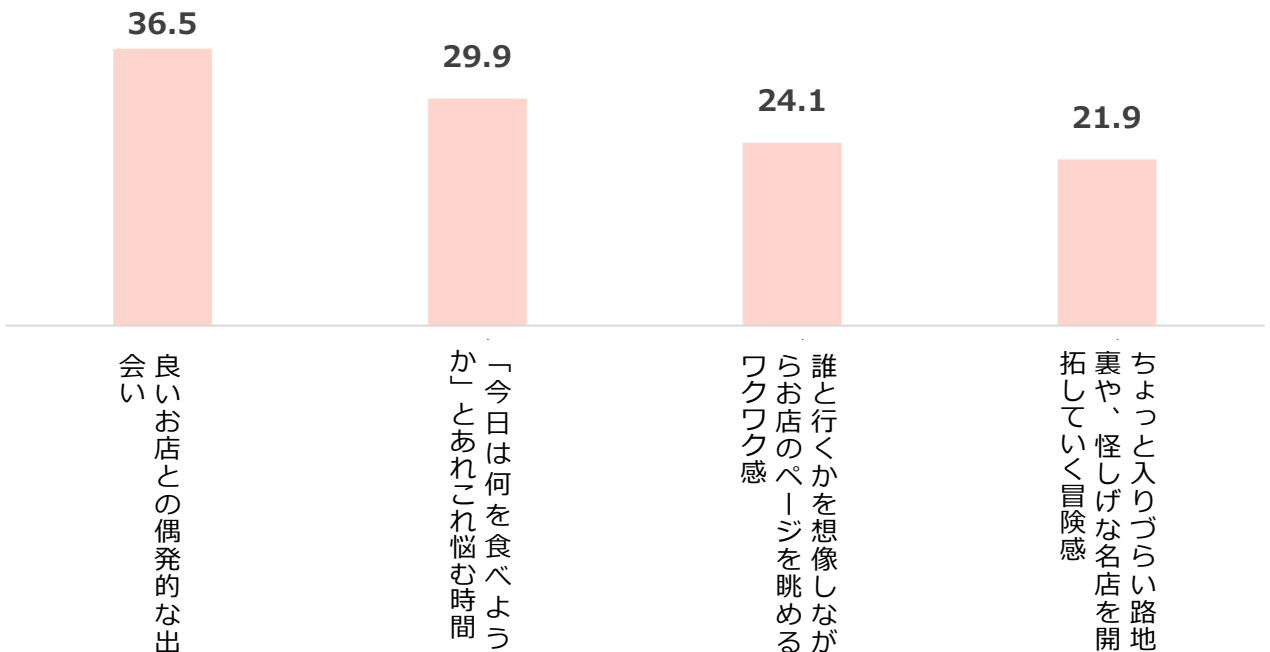
未来の飲食店探し

Q5. 未来の「お店探し・予約」において、実現してほしいワクワクする体験はどれですか。

(n=1,209) (%) ※複数回答



Q6. どんなにお店探しのテクノロジーが進化しても、「これだけは失いたくない」と思うことはありますか。 (n=1,209) (%) ※複数回答



未来に実現して欲しいお店探し体験は、「AIコンシェルジュが完璧な1軒を提案し予約まで済ませてくれる」が25.3%でトップ。

一方で、これだけは失いたくない・自分で楽しみたいと思うことは、「良いお店との偶発的な出会い」が36.5%で最多。